

# 活動プログラム

団体名（ 岡山県青年団協議会 ）

## 1. 事業内容

<input type="checkbox"/> 子どもたちの生活習慣や学習習慣の確立に関する活動
<input type="checkbox"/> 不登校（傾向）児童生徒対象の体験活動
<input checked="" type="checkbox"/> 自然体験、生活体験、社会体験に関する活動
<input type="checkbox"/> 家庭教育支援に関する活動

※複数選択可

## 2. 活動プログラム名

「 地域とのつながるきっかけを作る防災学習活動 」
---------------------------

## 3. 目標（ねらい）

※プログラムを通して、参加者に身に付けさせたい力、はぐくみたい姿等 防災学習を通じて、災害に直面した場合の適切な行動や日ごろからの災害に対する意識を育むとともに、地域とつながる大切さに気づく。
---

## 4. 活動計画 ※対象者の活動及び活動実施に向けた研修会等を記載してください。

回	★目標 ・活動内容・対象・参加者人数・スタッフ人数・会場等	◆目指す参加者の姿 (評価方法)
第1回	★災害時における災害対応能力の向上を図る。 ・活動内容 1) 日本赤十字社岡山県支部による「AEDの使い方、一次救命処置」講習 2) 岡山県青年団協議会による「非常食体験」 3) 倉敷市災害ボランティアコーディネータ連絡会による基本の防災対策「自助・共助の重要性について」 ・対象:地域の親子、団体の構成員、関係団体 ・参加人数: 20名 ・会場 :岡山県青年館大ホール	◆災害に直面した場合の適切な行動について理解している。(事後アンケート)

## 5. 展 開

回 時間	内 容	準備物	留意点	◆目指す参加者の姿 (評価方法)
【第 回】 10 分	【導 入】 オリエンテーション 趣旨説明、安全指導 自己紹介		・進行は構成員 が行う。	防災に対する意識 が高まっている (事後アンケート)
20 分	【活 動】 ○講義「AED の使い方・一次 救命処置」 講師 日本赤十字社岡山県支部	・AED 訓練キット 7~8 台 ・パソコン ・プロジェクタ ー		AED の使用方法、一 次救命処置の方法 を理解している。 (事後アンケート)
70 分	○ワークショップ ・グループ、親子にわか れる。 ・自己紹介 ・グループ、親子での AED 操作、一次救命処置の学習、 実施 ・毛布で簡易担架を作り搬 送訓練	・レーザーポイ ンター ・マイク 2 本 ・AED 操作資料		
10 分	感想・質疑応答			
10 分	休憩			
50 分	○非常食試食体験 ○講義「非常食について」 実施者 岡山県青年団協議会 ○ワークショップ ・実際にお湯を入れて試食 ・新聞紙を使用して食器・ スリッパを作成する。	・マイク ・電気ポット ・非常食セット ・ゴミ袋 ・テーブル ・椅子 ・新聞紙 ・ポリ袋	熱湯を入れた際 によくかき混ぜ ることを指示す る。	非常食の使用メ ソッドについて理 解している (事後アンケート)
10 分	休憩			
40 分	○講義「自助・共助の重要 性について」 講師 倉敷市災害ボランティアコ ーディネータ連絡会	・マイク 2 本 ・パソコン ・プロジェクタ ー ・講義資料	進捗度を見なが ら紙食器の作成 を行う。	自助・共助の重要 性について理 解している (事後アンケート)

<p>10 分</p>	<p><b>【振り返り】</b>  ○ワークショップ  付箋等を使用し今日の感想・今日からできる何ができるかを記入し、発表</p> <p>質疑応答・集合写真撮影  <b>【アンケート記入依頼】</b></p>	<p>付箋</p> <p>アンケート用紙</p>		
-------------	--	--------------------------	--	--